

平成6年11月22日

送り先

MB(北陸) システム営業課 御中	丸善(北陸) 営業課 御中	陸支 営業企画部	陸支 公共ビルシステム部
七宝 システム事業部 御中	NES 情報システム課 御中	(富山) 電力部	(金沢) 半導体・電子デバイス部
JMC 営業課 御中	北菱 情報機器課 御中	FAシステム部	FAシステム部
エム・アイ・エス 御中	MCC(北陸支所) 御中	公共ビルシステム部	電子・情報通信部
陸支(富山) コ課			

陸支コ課 情報

No. 21

内容

- ・技術情報 情報通信システムの概要 第二回
- ・情報誌トピックス —情報誌は発行責任者保管
 - 日経コンピュータ 11月14日号
 - 日経エレクトロニクス 11月21日号
 - 日経パソコン 11月21日号
 - DOS/V magazine 12月号
 - PC WAVE 12月号
 - LAN TIME 冬の特別号

ソフトウェアはSRCへ！
キャンペーンも随時実施中
詳しくはSRCニュースを

発行責任者

三菱電機株式会社 北陸支社
電子・情報通信部 コンピュータ課
稲崎義明

2. 情報通信ネットワークの変革

ISDNに代表されるネットワーク技術の進歩にともない、企業情報ネットワークの変革が始められてきています。

変革の目標として以下の項目があげられています。

- ・経営資源のひとつである情報の有効活用の促進
- ・通信コスト低減の実現
- ・社内コミュニケーションの円滑化

このような目的に対して、具体的内容として次のようなことがあげられます。

①回線容量、物理的配線における効率化

→使用している回線数の見直しと、多重化装置を利用することによる効率化とコスト低減

②情報メディアの統合

- ・音声
- ・データ
- ・イメージデータ
- ・動画像

→回線をデジタル化し、取り扱う情報をデジタル化することによって各種データ（マルチメディア媒体）を同等に取り扱うことが可能となります

③マルチホストアクセス

→ファクシミリ交換網、パケット交換網などを用いた1:Nの通信

④信頼性、柔軟性、拡張性の向上

⑤ネットワーク管理の効率化、簡便化

2. 1 情報ネットワークの今後

情報通信ネットワーク実現の手段としては、次の2つの方法があります。

①公衆通信ネットワークの利用

この方法は、ISDNに代表される高速公衆交換網に加入することによって、公衆通信ネットワーク内に自社の情報通信ネットワークを構築する方法です。

公衆通信ネットワークの特徴

- ・広域性に優れる
- ・提供されるネットワークには地域性があり、先進技術への対応が遅れがち
- ・特定ユーザの目的に合わせにくい

②独自の企業通信ネットワークの構築

自社の拠点間を高速専用線で接続し、独自の情報通信ネットワークを構築する方法です。

企業通信ネットワークの特徴

- ・最先端技術を独自に導入できる
- ・低コスト実現の可能性
- ・セキュリティがより安全

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○経産省コンピュータ 11月14日号

特集 迫りくるゲームの世界

個人の心をつかむ“常識破り”のソフトづくり

→マルチメディアの要素技術がすでに確立し、常識破りのソフトづくりで、コンピュータ市場おも侵食する可能性を秘めたゲームの世界から学ぶべき点を試みる

動向 パソコンサーバ市場へ低価格RDBがなだれ込む

→UNIX用リレーショナルデータベースのおもだったものがパソコンサーバの市場になだれ込んできている。クライアントが数十台程度であればサーバはパソコンが主流となる

動向 身近になったカラープリンタ

Windowsの追い風で6万円台

→カラーインクジェットプリンタが6万円台となり、一般のオフィスでも普及しそうな状況

ケーススタディ 細かな業務の流れを徹底調査

グループウェアで省力化図る 日新製鋼

→ロータスノーツをつかってワークフロープログラムを自社開発し、事務処理のOA化による省力化を実現

海外最新情報 クライアントサーバのコストを押さえる6つのポイント

→過去の実績からの長期的コスト削減のポイント

○経産省レポート 11月21日号

特集 マルチメディア著作権問題

技術的に解決可能に、動く米メーカ

→マルチメディアが普及し、情報スーパーハイウェイが完成しても著作権問題が解決しないと使いこなせない。著作権問題を技術力で解決しようとするベンチャー企業が出てきた

1部 <構想から実用段階へ>

パソコンやオーディオでソフト流通システムの構築始まる

→米国Wave System社はデータ放送などで配布した情報の使用記録を回収して課金するシステムを開発した

2部 <座談会>

「超流通」は技術的に可能、導入すれば機器メーカにも見返り

→超流通は、様々なデジタル情報をデータ放送やCD-ROMなどで供給し、利用頻度に応じて対価を徴収しようとする流通形態

特集 テレビメーカ、東南アジアの設計部門を強化

→価格破壊、円高などでテレビメーカは東南アジアへの傾斜を急速に強めている。生産から設計までも移管し始めている

1部 <移管の理由>

現地調達部品を使い、自前で設計

2部 <設計の現状>

ベテラン技術者の不足が人材育成の壁

解説 実用段階に入った話速変換、音声出力機器の基本機能へ

→音程はそのままに、発声速度を変えられる話速変換技術が実用段階にNHKは高齢者、聴覚障害者支援用に、三洋電機はVTRに

講座 ODBMSがソフト開発を変革(上)

→オブジェクト指向データ管理システムは、オブジェクト指向の開発技法と相性がいい

○経産省誌 11月21日号

特集 Windows 95マシンはこれだ

来年になっても通用するパソコンの条件

→Windows 95に現在市販されているパソコンが対応できるか

プロログ 今買って損しないパソコンの条件

→Windows 95の新機能に対応できるパソコンは

第1部 パソコン本体編

今から買うなら「95年仕様」を選べ

→95年パソコンにふさわしい性能と機能と各社対応

第2部 周辺機器編

周辺機器メーカーの「次の一手」はこれだ

→グラフィックボード、ディスプレイなどそれぞれに分けて解説

レポート ソフトの稼働率を上げる同時使用ライセンス

→サーバにソフトをインストールすることによって稼働状況を管理し、同時使用できるユーザ数の限定を行うことができ、その様な契約をすることによって稼働率を上げることができる

○DOS/V magazine 12月号

特集 詳説! CD-ROMと光磁気ディスク

→大容量媒体としてのCD-ROMと光磁気ディスクについて、現状を特集

OVERVIEW 高速化するCD-ROMとメディアの大容量化

→倍速が一般的となり、4倍速が発売されているCD-ROM、128MBであった3.5インチ光磁気ディスクは260から500MB以上へと大容量化しつつある

Research1 CD-ROMと光磁気ディスクの導入

→導入で問題なのはインターフェースの選択

Research2 メディアとドライブの研究

→CD-ROMと光磁気ディスクの技術的解説

テスト&レビュー 最新ドライブのパフォーマンスを測る

特別企画 Try!ホームパブリッシング
～年末年始、手作りカードでハートを撃つ～
→パソコンによる年賀状、カードの作り方

○PCWAVE 12月号

特集 「謎のパームトップ機」日本語化計画

→HP100LXと同様のパームトップ機の日本語化の特集

Part1 アストロビスタが香港で見つけた

謎のパームトップPCを日本語化する - PTV-30

Part2 CPUにV30/7.15MHzを採用した

最初のパームトップ機 - PS-1000

Part3 100LX用フリーソフトもサクサク動く

世界最速のパームトップPC - PS-3000

Part4 Flight Simulatorがスイスイ動く

PS-3000の“実の弟” - ME-386

Part5 高速な8086互換CPU「F8680」

搭載がアダに - Moving Pocket

Part6 DOS互換のファイルシステムと

「Mac寄り」のGUIを持つ - Psion 3a

Part7 葉書サイズのPC/XT互換

ボードコンピュータ - CARD WIZZ

Part8 リチウムイオンバッテリーで謎のパームトップをもっと怪しく

- 「風林火山灰」号の製作

Topics 韓国とシンガポールのビデオキャプチャカード情報

頑張っているのは“MIT”ばかりではない!

Topics 8mmビデオを利用して動画システムを作成する

Smart Job - 映像データベース作成支援ツール

Topics 「リモートPC」の最高峰

Norton pcAnywhere for Windows

→リモートPCは、LANやモデムを介した電話回線によってつながれた

PCを別のPCからコントロールするもの

本製品はWindows対応であるため、Windows上に別のPC

の画面をオープンすることができる

Review Unicodeの現状

マルチランゲージへの動き

ソフトウェア開発の世界で実用化が進むUnicode

Unicodeで多言語をサポートする

ワープロソフトと多言語対応入出力環境

アプリケーションにおける国際化

Xbaseにおけるマルチランゲージの利用と問題点

○E:A:N:T:I:M:E 冬の特別号

特集 NetWareの通信を理解する

→NetWareにおける通信環境のおさらい

Part1 サーバ接続のプロセスを解析し、プロトコルの仕組みを知る

→NetWareのプロトコルについて、パケットの構造から3.12j
で新たに組み込まれた伝送機能まで、基本的な内容から紹介

Part2 トラフィック対策のポイントとNetWare通信のチューニング

→快適なネットワークを維持するためのトラフィック対策

INTEGRATION

接続性の大幅な向上で企業への浸透を図る

Windows NT

→NetWare、TCP/IPネットワーク関連の機能を追加し、既存環境と
の融合性を向上

デスクトップ管理を具体化する

System Management Server

→Windows NT用ネットワーク管理ソフト

BUYER'S GUIDE

新規格の登場でさらに進化する手軽なアクセス機器、高速モデム

→現在14.4kbpsであるが次期規格が制定されると28.8kbpsにシ
フトしていくことが考えられる。それを踏まえて現状の高速モデムの一覽